



報道関係各位

2015年2月4日

株式会社キッズベースキャンプ

民間学童保育「キッズベースキャンプ」ニュースリリース

2月22日(日) 小学生が経営・マーケティングを学ぶ! 社会、働くことを学ぶ「KBC タウン」開催 キャリアデザインできる力を育むイベント

東京、神奈川で民間学童保育施設を22箇所運営するキッズベースキャンプ(東京都世田谷区桜新町、略称:KBC)は、仕事や社会に対する理解を深め、将来、子ども自身がキャリアデザインできる力を育むことを目的としたKBC独自の教育プログラム「キッズ MBA」の一環として、子どもたちが模擬店を運営し、一日限りの街をつくるイベント「KBC タウン」を開催いたします。

KBCは、「放課後の時間を“消費”から“投資”へ」をテーマに、小学生の子どもたちに安全な放課後を提供し、遊びや学びの体験の中から“社会につながる人間力”を育む、従来にはなかった新しい学童保育です。代表的な年間プログラム「キッズ MBA」は、ゲームや紙芝居、職業体験や職場見学などを通じて“仕事”や“社会”に対する関心を深め、将来のキャリア観やビジネス感覚を身につけることを目的としています。今年度は「仕事を知る」をテーマに行ってきました。

一年間「キッズ MBA」で学んだことの集大成として、2月22日(日)に行われる「KBC タウン」では、KBC全22店舗がそれぞれ趣向を凝らした模擬店を出店し、会場に一日限りの“街”を作り上げます。模擬店の商品・模擬店の装飾・衣装・広告などの内容は、企画立案の段階から子どもたちが議論を重ねて決定しています。売上目標を定め、目標達成に向けて、店長・副店長・広告担当などの役割分担を行い、接客の練習をし、当日に臨みます。会場内では仮想通貨「ケビィ」を流通させ、子どもたちが保護者をはじめとする大人のお客さんを出迎えます。

KBC タウンは、ドイツ・ミュンヘン市で30年以上の歴史を持つ、子どもが子どものための都市を作り上げるイベント“ミニ・ミュンヘン”に着想を得て、2009年より毎年開催しており、今回が7回目となります。

【「KBC タウン」イベント概要】

日時: 2014年2月22日(日) 12:00~16:00 (入場は15:00まで)

場所: 東京都立産業貿易センター浜松町館3階・4階

〔 JR線、東京モノレール「浜松町駅」徒歩5分 〕

〔 都営浅草線、都営大江戸線「大門駅」徒歩2分 〕

入場料: 大人(中学生以上) …1,500円(1000円分の疑似通貨付)

小学生以上のお子様 … 500円(500円分の疑似通貨付)

未就学のお子様 … 無料



<本件に関する報道関係の方のお問合せ先>

株式会社キッズベースキャンプ 広報担当: 三沢敦子

TEL: 03-5426-3123 / FAX: 03-3439-2266 / E-mail: pr@kidsbasecamp.com

HP: <http://www.kidsbasecamp.com>

【KBC タウン 実施内容詳細】

◆ 軽食、ゲーム、物販など、全 22 種類の様々な模擬店出店

KBC に通う子どもたちが店舗ごとに全 22 種類のお店を企画・出店。

商品開発、接客、商品管理、宣伝など、すべて子どもたち主体で行います。

・ 模擬店一覧

< 軽食 >

ふたご茶屋(二子玉川)／宮前おでん平(宮前平)／麵屋☆ゆきがや(雪谷)／アミーゴ☆しもまるこ(下丸子)
ワッフル工房～mizo☆フル～(溝の口)／にくやのぎゅうカップ(五反田・大崎)／雪だるまパフェ☆用賀(用賀)
しゃかポテキングダム日吉(日吉)／たまサン(たまプラーザ テラス)／青葉うまかあーうどん！！(青葉台)

< ゲーム >

三茶☆スーパーボール神社(三軒茶屋)／コイン De オツ☆トヨス(豊洲)／モトスミ★ゲームウォーターパーク(武蔵小杉・元住吉)
ワニワニスタンパー(大倉山)／ねらえ！むさこシューティングランド(武蔵小杉東急スクエア)
さかど☆レインボーおしゃれーズ(溝の口 坂戸)／新城・ブロックパズル！(武蔵新城)
アルたまトレジャーハンター☆(αたまプラーザ)

< 物販 >

サクラのあわあわ研究所(桜新町)／おおいプラネット(大井町)／にじいろクレヨン(α都立大学)
宇江須斗マーブリングまだら屋(雪谷ウエスト)

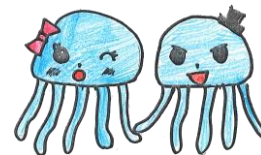


▲2014 年 KBC タウン

◆ 広告戦略として、今年も「ゆるキャラ」が登場！

お店を PR するための施策として、「ゆるキャラ」を、子どもたちが考案しました。お店の装飾に使われたり、オリジナルグッズに使われたりします。それぞれのキャラクターには、年齢や特技などプロフィールなども考えこまれたものになっています。

この他にも、お店に呼び込むための手持ち看板や、チラシの配布など、店舗ごとに趣向を凝らして、広告戦略を展開します。



▲今年のゆるきゃら (左から)レインボーねこ、みそせんたい・おでんジャー、ワニタ太郎、くらゲーズ

◆ **ステージ上で模擬店をプレゼンテーション！店舗対抗 CM 合戦**

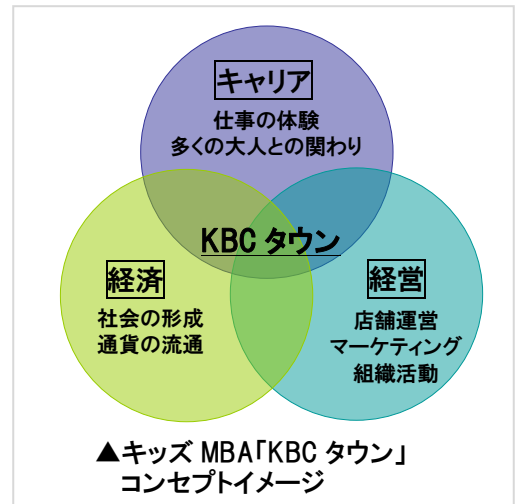
各模擬店がステージ上でお店のアピールを行うCMタイムがあり、出演者をお店ごとに、オーディションで選び、ステージ一杯に全員でアピールするお店など、各店舗が熱のこもったプレゼンテーション繰り広げます。

【KBC の独自プログラム「キッズ MBA」とは】

子どもたちにとって身近な例を用いて、ゲームや紙芝居などで楽しみながら仕事や経済の仕組みについて学び、自分と社会の“つながり”を知ってもらうことを目的としたプログラムです。

仕事や社会に関心を持つことで、将来自分にとっての適職を見つけるきっかけや、夢や目標を持つことを促していきます。また、グループワークや発表などを通して、コミュニケーション力・論理的思考力・情報編集力なども養っていきます。

※MBA とは、一般的に、Master of Business Administration の略で、経営学の大学院（修士課程）修了者に与えられる学位のことを指します。



【キッズ MBA「流通を知る」 KBC タウン開催までの流れ】



6月：いろいろな仕事を知る
職業をテーマに、さまざまな職業をゲームなどを通して知ります。



7月：街のお店を知る
理想の街を考えます。普段暮らしている街について改めて考えます。



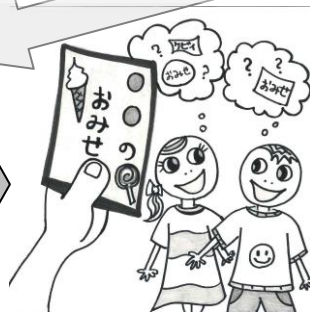
8月：職場・工場見学
現場で実際に働いている様子を見て、仕事を肌で感じる経験をします。



9月：お店屋さんになる
お店を開く仮定をして、自分たちが値段設定や販売方法などをグループに分かれて、工夫します。



10月：お店を考えよう
より魅力的なお客さんの集まる商品は何か考え、お店のコンセプトを決めます。



12月：お店を宣伝しよう
お店の内容を伝えるためのキャッチコピーやチラシ、装飾を作ります。



1月：リハーサルをしよう
本番に向けたキャストの分担を決め、当日のリハーサルを実施します。

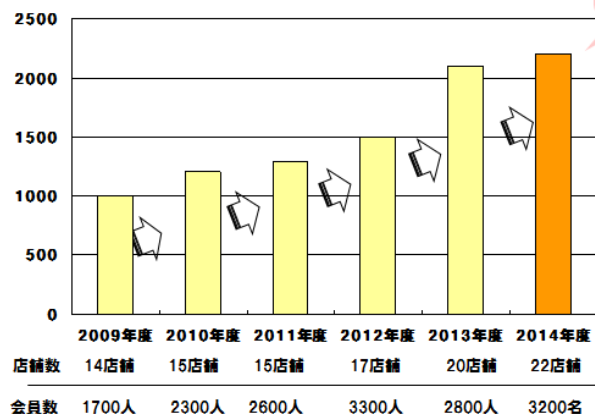


2月：KBC タウン開催
いよいよ一年間の集大成。これまでに学んだことを活かして頑張ります！

【KBC タウン 来場者の推移】

参加した保護者から、「敬語が話せるようになった」、「大人顔負けの接客力だった」といった感想が寄せられる KBC タウン。子どもたちの晴れ姿を見に、毎年多くの保護者や親戚が来場します。7 年目を迎える今回は参加者と保護者と合計で約 2,200 名が来場する見込みです。

■ 来場者予測



来場者予測
約 2200名

【KBC タウンのモデル「ミニ・ミュンヘン」とは】

「KBC タウン」はドイツで 30 年以上の歴史を持つ「ミニ・ミュンヘン」をモデルに考案されました。「ミニ・ミュンヘン」とは、7 歳から 15 歳までの子どもが 3 週間限りの「小さな都市」を築き上げ、その運営を行うイベントで、2 年に一度、ドイツのミュンヘン市で開催されます。子どもたちは都市生活に必要な様々な職業を疑似体験して所得を得、納税や市政も行うことにより、街や社会の仕組みを学びます。現在、日本でも千葉県佐倉市、千葉県市川市、三重県四日市市、福岡県福岡市などの自治体が主催しており、教育プログラムとして全国で広がりつつあります。



※ 「ミニ・ミュンヘン研究会」より
URL : <http://www.mi-mue.com/>